

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

病院名	フリガナ	ムサシノセキジュウジビョウイン
		武蔵野赤十字病院
所在地		東京都武蔵野市境南町 1 - 2 6 - 1
管理者氏名		院長 黒崎 雅之
承認年月日		平成 18 年 5 月 9 日
業務報告書提出日		令和 6 年 10 月 2 日

II 業務報告

対象期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
------	--------------------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件		紹介率 80 % 以上
紹介率	① / (② - (③ + ④ + ⑤))	100.4 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	23,548 人
	②初診患者数	40,500 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	8,701 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	8,353 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0 人
逆紹介率	⑦ / ② - (③ + ④ + ⑤)	107.3 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	25,154 人

2 共同利用の実績

共同診療件数	504 件
高額医療機器共同利用件数	504 件
共同利用病床数	611 床
共同利用病床利用率	63.0 %
共同利用施設・設備	集中治療室・化学検査室・細菌検査室・病理検査室・病理解剖室・研究室・講義室・図書室・医薬品情報管理室・救急搬送自動車2台
登録医療機関数	697

3 救急医療の提供の実績 【（１）又は（２）のどちらかを選択すること】

（１）救急患者数

救急搬送による救急患者数	11,048 （ 8,632 ）
救急搬送以外の救急患者数	7,314 （ 4,167 ）
合計（うち初診患者数）	18,362 （ 12,799 ）

※括弧内は、初診救急患者数

（２）救急医療圏（２次医療圏）人口における救急搬送患者数割合

A:救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	人
B:救急医療圏（２次医療圏）人口※	人
C:A/B×1000＞2	(少数点第1位まで記入)

※２次医療圏人口に関しては総務省統計局により実施された直近の国勢調査の人口（該当２次医療圏における区市町村人口の総和）を用いること。

（３）救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	病院実習、研修 医学、医療に関する講演会 地域の医師等を含めた症例検討会、研修会		
地域の医療従事者への実施回数		39 回	
合計研修者数	※院外からの延べ参加人数	4643 人	
研修体制	研修プログラムの有無	有	無
	研修委員会の設置の有無	有	無
	研修指導者数	79 人	
研修施設	会議室、講義室、医療連携課、医局、図書室等		

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	副院長 兼 脳神経外科部長		
管理担当者	事務部長		
診療に関する諸記録の保管場所		総務課、看護部、医療秘書課、医療連携課、病歴室、放射線科、病理・検査部	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	医療連携課	
	救急医療の提供の実績	総務課、企画課	
	地域医療従事者向け研修の実績	医療連携課、人事課	
	閲覧実績	患者相談室、医療連携課	
	紹介患者に対する関係帳簿	医療連携課、企画課	

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	副院長 兼 脳神経外科部長		
閲覧担当者	看護師長 兼 患者相談室 室長		
閲覧に応じる場所	患者相談室（カルテ開示等）、医療連携課（医師等による閲覧）		
前年度の総閲覧件数			170 件
閲覧者別延べ件数	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	43 件
		歯科医師	0 件
	地方公共団体		0 件
	その他		127 件

7 委員会の開催実績

委員会の開催回数	2 回		
委員会の概要	開催 1 回目：令和 5 年 9 月 4 日（月） 2 回目：令和 6 年 3 月 6 日（水） 会の名称：地域医療支援病院運営協議会 委員：近隣9市区医師会会長、薬剤師会会長、保健所所長、市役所健康福祉部長、地域住民代表、学識経験者 協議内容：当院の人事及び動向、病院事業概要、登録医の状況、入退院支援加算等算定件数、ロボット支援手術件数、分娩件数、急性期充実体制加算算定割合、二次救急の応需体制の変更、医師の働き方改革について、体制について、講演会実績報告、今後の講演会ご紹介、等の報告		

8 患者相談の実績

相談を行う場所	患者相談窓口、相談室、面談室		
主たる相談対応者	ソーシャルワーカー1名、看護師1名、公認心理士1名 がん看護専任看護師1名、相談窓口事務2名		
相談件数			57,728 件
相談の概要	療養相談、セカンドオピニオン、医療福祉相談、在宅療養支援、医療制度説明、経済・就労・教育問題の援助相談、医療事故・医療安全に関する相談、医療機関検索・照会、診療記録開示、がん相談、ご意見・ご要望等、その他（診療科固有の事情や相談など）		

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	(有) ・ 無
評価を行った機関名、評価を受けた時期	●評価を行った機関名、評価を受けた時期 ・評価を行った機関：日本医療機能評価機構 ・評価を受けた時期：令和2年2月6日～2月7日 (日本医療機能評価3rdG:Ver.2 認定)

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	(有) ・ 無
情報発信の方法、内容等の概要	取組みに関する事項を院内掲示及び広報誌、又はホームページへ掲載し、地域医療機関及び市民へ情報発信している。市民向けの公開講座や院内開催の研修会等の開催情報を、市報や新聞への掲載依頼をし、広域に広報を行っている。

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	(有) ・ 無
退院調整部門の有無概要	医療連携センターに看護師長1名、退院調整看護師6名を配置している。ソーシャルワーカー8名と共同し、医師・病棟看護師と随時情報共有しながら患者・家族への早期介入を実施し、迅速な転退院調整を行っている。

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	(有) ・ 無
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	●策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 ①脳卒中地域連携パス ②大腿骨頸部骨折地域連携パス ③がん連携パス(5大がん+前立腺がん) ●地域連携クリティカルパスを普及させるための取組 ・市民への理解を図るため、院内掲示や広報誌、ホームページへ運用や活用方法を掲載している。 ・定期的に地域の医療機関と勉強会、検討会を開催し、運用の問題点を検討している。